

## 全国の里親が育てたヒマワリの種 700kgをいただきました



事務局と共にヒマワリ娘やマスコットキャラクターも来庁。村の子ども達へ本の寄贈も受けました

6月11日、「福島ひまわり里親プロジェクト」のヒマワリの種・約700kgが、村に寄贈されました。このプロジェクトは、特定NPO法人「チームふくしま」が進めているもので、同団体から種を購入した学校・企業が里親として全国各地でヒマワリを栽培。収穫した種を、同団体が、県内の学校や自治体に寄贈しています。村への寄贈は初めてで、半田真仁理事長は、「たくさんのヒマワリが咲き、多くの方が村を訪ねるきっかけになってほしい」と希望こめて語りました。村ではこの種を、村内各所に植える予定です。

## 村内住居の確保へ 大師堂住宅団地安全祈願祭



大師堂住宅団地のパース図。県が二本松市に整備した仮設住宅を活用し、村が新たに整備する住宅です

6月3日、大師堂住宅団地（草野地内）で安全祈願祭が行われ、村、県、工事関係者らが工事の無事を願いました。この住宅は、東日本大震災の被災者のために建設されたログハウス型応急仮設住宅のうち、退去が完了した住宅を移設し、村が新たに整備するものです。同住宅は南向きの高台にあり、高齢者対応住宅を含めた全12戸と、専用駐車場20台分が新設されます。入居開始は、令和2年4月頃の予定です。入居に関する詳細については、決まり次第広報等でお知らせします。

## 男性だけ！の料理教室 おいしい時間を皆で一緒に



ちょっと慣れない手つきもほほえましく…料理を通じて参加者同士がほのぼのと交流しました

6月11日、「相馬広域こころのケアセンターなごみ」が主催する「男性のつどいin飯館」が、地域活性化センターいちばん館で開かれました。同センターは、相双地区でメンタルヘルス（心の健康）に関する支援を行っている団体です。参加したのは、相双地域に暮らす男性約30人。味の素ファンデーション（公財）の協力のもと、エプロンを付けて調理を開始。ピーマンの肉詰めや切り干し大根のサラダなど、良質なたんぱく質が摂取できるメニューに、スタッフ含め男性のみで挑戦し、できた料理を、皆で味わいました。

## 高野 進さん（八木沢・芦原） 藍綬褒章を受章



村長室で額装された藍綬褒章を手に記念撮影に応じる高野さん(左)。菅野村長らに受章を報告しました

5月21日付で発令された春の褒章で、高野進さんが、公共の利益に貢献した人に贈られる藍綬褒章を受章しました。高野さんは、村消防団に入団して今年で36年目となり、平成28年度からは団長を務めています。6月7日には、受章の報告に役場を訪れ、「消防団に長く取り組んできたこともあると思うが、多くの団員のがんばりのおかげで受章することができた。皆で喜び合いたい」と笑顔を見せました。高野さんは、5月30日に東京都内で伝達を受け、同席した奥さんと喜びを分かち合ったそうです。

## 口の健康を大切にしましょう！ 介護予防教室を開きました



福島県歯科衛生士会の玉川春美さんが講師を務め、模型を使って口の手入れのポイントを伝えました

6月21日、交流センター「ふれ愛館」で、介護予防教室を開きました。この日のテーマは、「口の健康」です。歯と歯ぐきの状態や、口の中の衛生は、からだの健康とも密接に関わるもの。教室では、大きな模型を使って、実際にはなかなか見ることのできない口の中のこと、効果的な手入れの方法などを学びました。村では、介護予防教室として、健康寿命をのばしたいと人生を送るためのさまざまな講座を行っています。開催の際には、お知らせ版などを通して日時をお知らせしますので、皆さんもぜひご参加ください。

## もっともっと沖縄を知ろう 「沖縄までの旅」事前研修



綿貫さんは資料や写真を示しながら沖縄の歴史・自然・文化について児童にも分かりやすく話しました

村の小学生が沖縄を訪れ、平和の尊さ、自然・文化の素晴らしさを体感する「沖縄までの旅」。初回の事前研修が、6月9日、交流センター「ふれ愛館」で行われました。研修では、団員が班別の話し合いを行い、また、沖縄県・石垣島出身で八重山平和祈念館の元学芸員・綿貫円（わたぬきまどか）さんの講話を聞きました。7月21日から3泊4日で実施される今年の旅には、33人の5・6年生が参加します。村の小学校に通学する児童と、村外の学校に転校した児童が、力を合わせて沖縄を旅します。